



# 防災チャットボットの開発等、SIP国家レジリエンスに関する対策【内閣府】

- 施策概要**
- 効果**

災害時に役立つ防災チャットボットや避難・緊急活動支援統合システム、市町村災害対応統合システム等を開発

災害発生直後でも被害を受けた箇所に関する情報集約や避難のための適切な情報提供が可能

国、研究機関
 
 SIP「国家レジリエンス（防災・減災）の強化」

人命・財産の被害最小化

(2)

交通・ライフラインの維持

激甚化する風水害や切迫する大規模地震等への対策

## ■ 全国的な対策と効果

139自治体で防災チャットボットの導入実績(令和6年度末)



災害発生直後の被害状況に関する投稿を防災チャットボットによって集約し、AIによる被害分類等を行うことで、本部と現場間で被害状況を共有することを可能にし、超急性期における状況把握や避難のための情報提供を実現。  
また、市民に対して復旧状況について情報発信を実施することで双方向の対話が可能。

2

インフラの老朽化対策

<防災チャットボットによるリアルタイム情報共有例> (令和3年2月 南相馬市)

市からの呼びかけがなくても地震発生から数時間で50件以上の投稿 → 被害状況の把握が容易

報告 55件 カテゴリ 115件

被害のカテゴリを見ると 水道トラブルが多い

自治体から対応状況発信

南相馬市水道課からお知らせします。現在、地震発生の影響を受け原町区全域において、緊急遮断弁の作動による断水が起きています。順次、安全を確認しながら通水しますので、今しばらくお待ちください。

(1)

施策のデジタル化

3

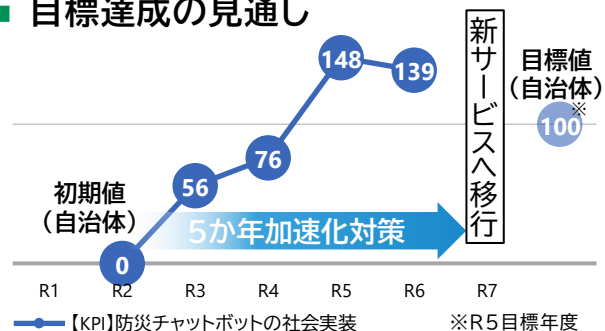
国土強靱化に関する施策を効率的に進めるためのデジタル化等の推進

## ■ 予算額(国費)(加速化・深化分)

R3	R4	R5
-	-	-
R6	R7	累計
-	-	-

※ 加速化・深化分は措置されていないが、SIP「国家レジリエンス(防災・減災)の強化」の予算により対策を実施

## ■ 目標達成の見通し



(2)

災害関連情報の高度化